

126三田会

ひとりひとりのそばにあって、 それぞれの人生を見守っています。 一貴重な時間を「見守る者」―の象徴として 126三田会は塾のユニコーンをシンボルとしました。

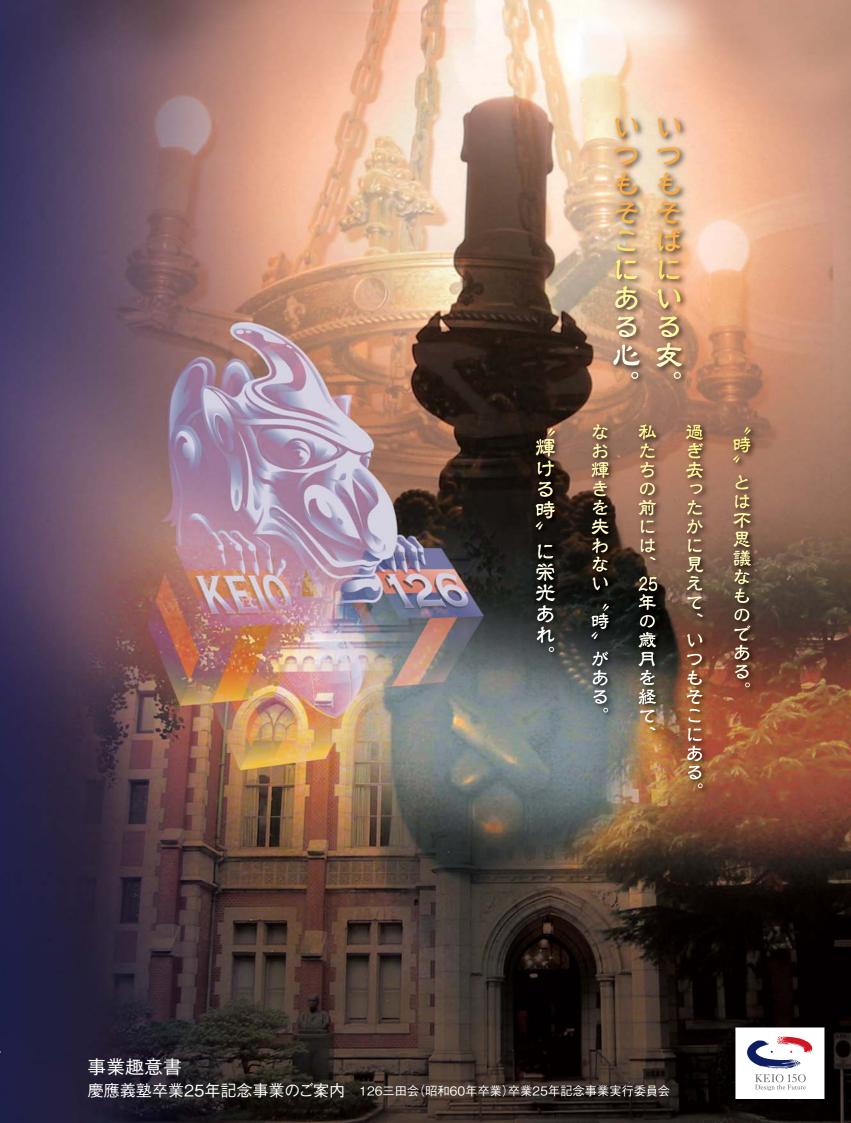
126三田会卒業25年記念事業スケジュール

2007年11月7日●第三回同窓会にて記念事業活動スタート!

2009年5月23日●記念事業キックオフ同窓会(第四回)@三田キャンパス

2010年3月22日●記念大同窓会@ホテル・ニューオータニ

2010年3月23日●慶應義塾大学卒業式参列及び塾員招待会@パシフィコ横浜(予定)



更 見 て れの道のり

塾長挨拶



慶應義塾長 安西祐一郎

実行委員長挨拶



慶應義塾126三田会 慶應義塾卒業25年記念事業 実行委員会 委員長

市瀬豊和

1985年(126年)三田会の皆様へ

1985年(126年)三田会の皆様が、来年3月に卒業25年目の輝かしい節目の年を迎えられることを、慶應義塾を代表して心よりお祝い申し上げます。また、卒業25年記念事業の一環として、募金活動を進めてくださるとのこと、厚く御礼申し上げます。

1985年3月23日、日吉の丘にて皆様の卒業式が行われました。そのときには、卒業25年を迎えた先輩方が皆様の出発を温かくお祝いくださいました。来年3月に卒業25年を迎えられる1985年(126年)三田会の皆様には、是非、大学卒業式にお越しいただき、皆様の後輩である新塾員諸君の新たなる旅立ちを祝福していただきたいと存じます。

いま皆様は、卒業後4半世紀を経て、社会の中心を担う年代を迎えられ、さまざまな分野において社会をリードしておられます。慶應義塾もまた、社中の皆様のご支援を得ながら、「全社会の先導者たらん」という姿勢を貫き、皆様が誇れる学塾であり続けられるよう、あらゆる努力を続けております。独立自尊150年、世界に誇るその伝統を原点に、慶應義塾は、多様な文化・伝統・生活等の背景を持つ人々に開かれ、地球規模の視野をもって、国際水準で感動教育実践、知的価値創造、実業世界開拓を推進することのできる、オープンでグローバルな学塾を目指し、教育、研究、医療等の質の向上を図っています。

さまざまな卒業25年記念事業を通し、あらためて皆様が義塾に集う仲間として絆を深め、義塾の未来に向けた希望を共有され、オープンでグローバルな学塾づくりに努める義塾の歩みにご参画いただくことを心より願っております。これからも皆様の母校、慶應義塾への温かいご支援と変わらぬご協力を切にお願い申し上げます。

来年3月、皆様にお会いできることを楽しみにしつつ、さらなるご活躍とご健勝を祈念申し 上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

『四半世紀の絆』

卒業してから四半世紀の歳月が過ぎましたが、皆さんはそれぞれの生きる道を選択し、それぞれの人生を歩み、そして公私ともに様々な分野で活躍をされていることと思い、同期生としてたいへん嬉しく思います。

さて我々126三田会(1985年卒)は2010年3月に卒業25年を迎えると同時に、慶應義塾の伝統行事の1つとして大学の卒業式(来年3月23日)へ出席するチャンスをいただけます。素晴らしいことに、懐かしい青春のひとコマをもう一度味わうことができるのです。この2度目の卒業式に向け、我々126三田会は義塾並びに諸先輩への恩返しの気持ちと後輩たちへのエールを込めた記念募金を同期の皆さんに呼びかけたいと思います。合わせて126三田会の卒業25年を祝して大同窓会(来年3月22日)を開催する予定です。

政治、経済共にたいへん難しい時代、先の読めない不安定な社会情勢ではありますが、 こういう時こそ大切にしたいものがあります。学生時代に育んだ仲間との絆であり、永遠に 忘れることのない青春のひととき、そして慶應義塾での学問を通じて培われた独立自尊の 精神。学生時代の思い出は色褪せることなく今でも心の中で輝いています。その思い出と 時間を共有した仲間たちとは、今も変わることなく互いに支えあっていると思います。そし て、義塾で学んだ先導者たる精神が自らを奮い立たせます。

私達にとって大学生時代はどんな意味を持つのだろうかと振り返ると、数え切れないほど 沢山のシーンが呼び起こされます。まるで録画されているかのような明確な記憶が、つい最 近起こったことのように感じたりもします。『青春とは人生の或る期間を言うのではなく心の 様相を言うのだ』という名言にも確かに希望を感じますが、最も輝かしい青春時代はやはり 大学生の頃だと、皆さんは思いませんか?

喜んだこと、怒ったこと、哀しんだこと、そして楽しかったこと…、一堂に会して一緒に語りませんか、卒業25年という節目の年に。来年の3月、卒業25年を機に皆さんのご協力のもと同期の絆を更に確固たるものにできたら幸せです。



第8校舍811,812,831教室心理学研究室

●126三田会卒業25年記念事業の概要

2010年3月23日(火)大学卒業式に出席します。

慶應義塾では、卒業25年目の塾員をその年の大学の卒業式に招待する伝統があります。 私たち同期全員が晴れて2010年3月23日に行われる卒業式に正式に招待をいただき、卒 業式終了後の塾主催塾員招待会にも参加します。

2010年3月22日(祝)、大同窓会を開催します。

3月23日の卒業式前日、25年前の園遊会同様私たち同期6,000名は多くの仲間が一堂に会する大同窓会をホテルニューオータニで開催します。

仲間の笑顔を見に行こうではありませんか!

●記念事業 募金活動へのご協力のお願い

卒業25年を祝し、卒業式に招待された諸先輩塾員方は社中の一員として代々「塾への恩返し(寄付)」を行って参りました。現在、大変な社会情勢で有りますが、過去の厳しい時代であっても母校慶應義塾が「未来への先導者」で有り続ける事を祈念し、寄付された諸先輩方の思いを私たちも今塾員として継承し伝えて行くべく、新たに設置された「未来先導基金(義塾の使命ともいえる教育・研究活動の充実と塾生への積極的な還元を通じた人材育成を行う。)」を含む慶應義塾創立150年記念事業への協賛を目的に募金活動を行います。150年記念事業への募金とのリンク(既に150年記念事業に募金された方も含め)につきましてはQ&Aに補足説明をしておきましたので、皆さまが確実に募金をおこなえるように是非ご一読下さい。今回の126三田会の寄付金は私たちが招待を受ける2010年3月23日の慶應義塾大学卒業式において、塾長に目録の形で贈呈されます。どうか皆さまお一人お一人が、趣旨にご理解、ご賛同の上、募金活動への参加をいただけますよう、心からお願い申し上げます。



昭和59年度(私たち1985年=昭和60年3月)卒業生一同から贈られた日吉校内案内図 (当時は銀杏並木入口、現在は校舎改築工事の為塾にて保管中。)

募金要項

目的:慶應義塾創立150年記念事業への協賛

目標金額:3,000万円

募金単位:個人名義 一口:10,000円(出来るだけ3口以上でお願い致します。) 法人名義 一口:50,000円(出来るだけ2口以上でお願い致します。) ※端数口での募金も受け付けます。

■振込方法

専用振込用紙を利用した金融機関への振込:

a)同封の126三田会卒業25年記念事業用創立150年記念事業募金振込用紙の場合は記載の金融機関よりお振込み下さい。自動的に当会扱いとなります。

b)126三田会卒業25年記念事業用ではない創立150年記念事業募金振込用 紙の場合は通信欄に「126三田会卒業25年記念事業」とご記入頂き記載の金 融機関よりお振込み下さい。万が一ご記入せずにお振込頂きましても事務局宛に ご連絡いただければ126三田会扱いとなります。

※「a」「b」共振込用紙裏面記載銀行各行本支店間は振込手数料は無料です。 また郵便局扱いの払込に付いても慶應義塾にて負担致します。

専用振込用紙を使用しない金融機関への振込:

下記口座宛に金融機関よりお振込みをお願いします。恐縮ですが趣意書送付時の宛名の部分に記載の9桁の番号をお振込人氏名の前に入力下さい。お振込みにかかる手数料はご負担下さいますようお願いします。

領収書ならびに所得税寄付金控除証明書の発行:ATM等からお振込み頂いた場合は、払込票などが領収書控えとなりますので保管下さい。後日、慶應義塾からお礼状及び領収書と所得税の寄付金控除証明書が発行され、確定申告に使用出来ます。

<126三田会卒業25年記念事業用口座>

振込銀行:三菱東京UFJ銀行 築地支店(店番025) 普通預金1269459

口座名:126三田会卒業25年記念事業実行委員長 市瀬豊和

お問合せ:ご不明な点などは以下担当宛にご遠慮なくお問い合わせ下さい。

<問合せ先>慶應義塾創立150年記念事業室 募金担当 電話03-5418-0150

126三田会事務局 e-mail:info@keio1985.com





●卒業25年記念事業とは? Q&A

Q:私たち「126三田会」はどのような会でメンバーは誰ですか?

126三田会の「126」とは、慶應義塾創立以来126回目の卒業生という意味で、そのスタートは1985年の私たちの卒業式にさかのぼり、この時に慶應義塾大学を卒業した約6000名の塾員を主体に構成される「年度三田会」のことで、他大学の同窓会に相当します。自分は「そんな同窓会組織に入った覚えはない」という方々もいらっしゃると思いますが、1985年3月23日(土)に行われた私たちの卒業式終了と同時に126三田会の結成式が行われ、卒業生全員が自動的に126三田会に入会されています。

Q:この会に友達は多いのですが自分は卒年が違うのですが…。

冒頭に、126三田会は1985年(昭和60年)に慶應義塾大学を卒業した塾員がメンバーであると申し上げましたが、ここで私たちから一つ提案があります。「1985年頃に慶應義塾大学を卒業した仲間にアイデンティティーを感じる者たちの会」に言い改めてはどうでしょうか?さまざまな理由で卒業年が違ったり、あるいは諸般の事情で慶應義塾には入ったが卒業は他の学校だった、ということに拘わらず「私たちは大事な仲間だよね!」と実感できる者たちが集まれる会こそが126三田会の定義であると私たちは思っています。

Q:今回の卒業25年記念事業実行委員会とは?

10年毎に当番年となる連合三田会大会で最初の当番年だった1995年大会、二回目の当番年を迎えた2005年大会でお手伝い頂いた在京同期を中心に、永年準備を進めて参りました。2005年に卒業後初となる同窓会を開催、翌年2006年には第二回同窓会を三田キャンパスで、2007年にも第三回同窓会を開催し旧交を温めて来ました。このような連合三田会や今までの同窓会にご参加いただいた方々を中心に実行委員会を発足し、塾と常に連携しながら2007年より実行委員会を開催しております。是非これからも多くの仲間のご協力をお願い致します。

Q:どうして卒業25年目に卒業式に招待されるのですか?

塾を卒業し25年目の塾員が卒業式典に招待いただくのは1953年(昭和28年)から続く慶應義塾の伝統行事です。社会人としても充実した時期を迎えるこの卒業25年目の塾員が、若い日の自分たちを追想するとともに、今まさに希望に満ちあふれる後輩たちを祝福し、激励するために行うものです。

Q:招待される卒業式は何処でやるのですか?

「卒業式」は例年「日吉記念館」で行われ記念館二階正面に「卒業25年を迎えた塾員席」が用意されますが、2010年は日吉記念館の建て替えに伴い「パシフィコ横浜」での卒業式が予定されています。私たちが招待いただく来年の卒業式は塾の歴史上「唯一無二」の卒業式となる事でしょう!

Q:卒業式で126三田会は何をするのですか?

塾にご用意いただく「卒業25年を迎えた塾員席」より現役の卒業生を祝福すると共に、25年前の私たち同様、引き続き行われる「年度三田会結成式」に立ち会い、今度は新たな塾員を迎える歓迎の意を表す立場となります。私たちの代表が卒業生への「祝辞」を述べると共に慶應義塾へ「寄付目録」を贈呈致し、式典終了後、慶應義塾主催の招待会(懇親会)にも出席致します。

Q:大同窓会はいつ?どこで開催するのですか?

卒業式が2010年3月23日(火)と平日のため「大同窓会」を当日開催する事は難しく、前日の祝日である3月22日(春分の日)午後、ホテルニューオータニにて開催を予定しております。詳細が決まりましたら後日ご案内させていただきますが、25年前の園遊会同様例年1,000名をこえる方にご出席いただいているようです。126三田会ではより多く、より遠方からの仲間も是非出席いただけるよう、祝日開催に致しました。皆さま奮ってご参加下さい。

Q:なぜ今回の卒業25年記念事業で寄付活動(募金)も行うのですか?

皆さんは覚えていますか?日吉キャンパス(並木入口)に立っていた「日吉構内案内図(前々頁写真1)」を!これは25年前、卒業を記念し私たち同期全員から塾に寄贈されたものです。あれから25年の月日が経ち、再び塾は私たちを卒業式に招待下さいます。私たちは謝意をこめて慶應義塾の原点である「社中の協力」のもと、新たに設置された「未来先導基金(義塾の使命ともいえる教育・研究活動の充実と塾生への積極的な還元を通じた人材育成を行う。)」を含む創立150年記念事業への協賛を目的に25年振りの「塾への恩返し」を同期全員で行うのです。

Q:塾創立150年記念寄付なら自分は既に慶應義塾におこなっていますが?

ご安心下さい。他の三田会(企業三田会や地域三田会等)や団体経由(所属ゼミ、サークル、體育會等)で無く「個人」として既に寄付をされた方であればお申し出下さい。126三田会扱いの卒業25年記念事業寄付に切り換えて加算する事が出来ます。事務局迄必ずご一報下さい。

Q:事務局に連絡したいのですが。

活動は全て同期実行委員スタッフがボランティアで行っています。本業や家庭への影響や負担を考慮し、連絡は基本的にE-mailをお使い下さい。メールアドレスはinfo@keio1985.comです。いただきましたメールには担当委員が折り返し連絡させていただきます。また塾が運営する塾員サイト「慶應オンライン」ともリンクされています私たち学年(126三田会)のサイトhttp://www.keio1985.com/にも定期的に情報の掲載を行っていますのでご確認下さい。

同期の皆さま方の連絡先を整備しています。

塾より郵送される卒業式招待状を同期全員に届ける事を目標に、同期の方々の連絡先を整備していますが、残念ながら未だ連絡先不明の方が800名以上いらっしゃいます。同窓会やクラス会、126三田会サイトなどで不明な方の状況をお知らせして参りますので、連絡先をご存知の方は情報の提供をよろしくお願いします。 ※昨今は個人情報保護法の趣旨に鑑み、情報の取扱いは慎重になっています。ご友人の方であってもそれぞれのご事情、お考えがある場合もございますので、情報のご提供の際は本人のご意向を確認の上でいただきますようお願い致します。

●事業記念誌としての「126三田会名簿」の発行と

広告掲載のお願い

今後も続く同期交流に役立てる目的と、大事な思い出の形として同窓会の写真なども掲載した記念誌としての同期名簿発行を行います。つきましては本名簿への広告掲載を企業、個人を問わず募集致します。掲載料金を本名簿の作成費用及び126三田会の活動資金に充当させていただきたいと考えております。126三田会名簿は、ご協賛いただきました企業さまをはじめご協力いただいた方、慶應義塾の現旧職員、全国の慶應義塾関連諸機関などに配付致します。何卒趣旨をご理解いただきご協力下さいますようお願い致します。(尚、126三田会会員で名簿に非掲載希望の方は、事務局にご連絡下さい。)

[名簿発行概要]

名称:126三田会会員名簿(仮称)/仕様:A4版 約300ページ/発行部数:約5,800部(予定) 発行日:2010年3月の大同窓会、卒業式招待以降/配付先:広告掲載者、募金にご協力いただい た方、慶應義塾及び関連諸団体(販売は致しません。)

広告スペースおよび掲載料金

カラー 1ページ 天地266mm×左右180mm 300,000円(税別) モノクロ 1ページ 天地266mm×左右180mm 200,000円(税別) モノクロ 1/2ページ横 天地130mm×左右180mm 100,000円(税別) モノクロ 1/4ページ縦 天地130mm×左右88mm 50,000円(税別) モノクロ 1/4ページ横 天地63mm×左右180mm 50,000円(税別) 名刺サイズ モノクロ 20.000円

**デザイン料などは含まれておりません。また広告掲載は編集の都合上、上記サイズとし、かつ50音順を原則とさせていただきます。

掲載料金のお支払い方法:銀行振込/お申込後、広告部会より請求書を送付申し上げます。 お振込みは下記口座にお願い申し上げます。

<126三田会卒業25年記念事業記念誌広告口座>

銀行口座: みずほ銀行 新宿新都心支店(店番209) 普通預金1210048 口座名: 126三田会幹事 宮尾武志

広告原稿について:

(1)入稿形態

企業広告の場合:完全データ(CD-R/MO)とデータ出力紙(カンプ)を入稿下さい。

(新規に原稿を作成される場合は、別途料金にてデザイン・版下作成を承っておりますのでご相談下さい。) 個人名刺広告の場合:出身学部学科及び氏名をメールにてお知らせ下さい。

(2)校正

完全データ入稿の場合 → 校正1回

新規作成の場合 → 校正2回(広告主さまのご都合による変更は別途修正料を頂戴します。)

(3)原則として、ご希望の掲載原稿サイズ内でカコミケイを入れて下さい。



25

年

前

0

あ

0

(5)広告掲載・原稿製作・入稿などに関するお問い合わせ先記念誌編集部会 DTP担当:濱田竜哉(商学部)

〒106-0031 東京都港区西麻布2-8-9

株式会社 アド・プリント内

TEL:03-3407-6628

E-mail:kinenshi@keio1985.com